

# 汚染土保管用放射線遮へいバッグの開発支援

支援先

株式会社サンメック

## 【開発の背景】

東日本大震災の影響で発生した原子力発電所の事故によって、放出された放射性物質による土壌汚染は深刻な問題となっています。

対策として汚染された土を取り除く作業が行われていますが、取り除いた汚染土は、放射線遮へいなどの対策がとられずに、民家や学校等の敷地に土嚢袋などに詰めた状態で放置されているのが現状です。

## 【開発の経緯・支援内容】

支援先企業の株式会社サンメックでは、上記の問題を解決するために、安全に保管が可能となる「放射線遮へいバック」(図1)の開発を行っていましたが、製品の評価試験として、屋外での長期保存を想定した強度試験を実施する必要性がありました。

工業技術センターには、人工的に試料の劣化を促進させることが可能な耐候試験機と引張強度を測定する試験機(図2)を所有していることから、受託研究の依頼を受けて評価試験を実施しました。



図1 開発中の放射線遮蔽バック



図2 所有試験機  
(右:耐候試験機 左:引張試験機)

## 【開発した製品の紹介】



図3 開発製品

(左:放射線遮へいバック 17ℓ 右:放射線遮へい容器 20ℓ)

今回開発された製品は、現在販売されており、下記問い合わせ先で購入が可能となっております。

- 販売先:株式会社サンメック  
日田市田尻町3丁目28番1  
Tel:0294-42-3077(代)  
Fax:0294-42-7032
- URL:<http://www.sunmec.jp/>

基礎となった事業

平成 24 年度 オンリーワン技術開発支援事業 (受託研究)

現在の担当部門

紬技術部門

部門長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

中野 睦子